

**○ 会社役員賠償責任保険（D&O 保険）および会社補償の導入状況に関する調査結果について
東京海上日動（22/12/7 ニュースリリース）**

- ・ 調査対象は、2021 年 4 月～2022 年 3 月期に有価証券報告書を提出した上場企業 3,849 社。
- ・ D&O 保険の上場企業の加入率は約 80%。親会社が締結するグループ会社を包括で補償する D&O 保険契約で補償対象となっている企業等を含めると、実際にはこれよりも高い割合で D&O 保険に加入していると推測される。
- ・ プライム上場企業の加入率は約 85%に対して、スタンダード・グロス上場企業では約 75%となっている。プライム上場企業は、改訂版 CG コードにおいて、気候変動に関する情報開示の充実など他よりも上乘せされた原則が求められていることを背景にガバナンスへの意識が高まっており、D&O 保険への加入率が高まっていると考えられる。
- ・ 売上高または総資産額が 1 兆円を超える企業の加入率は 90%を超えるのに対して、売上高または総資産額が 100 億円未満の企業の加入率は 70%以下に留まっている。
- ・ 社外取締役の構成比率が高い企業は、有力な社外取締役の招致のため、加入率も高いものと考えられる。なお、社外取締役が 8 人以上の上場企業の加入率は 100%となっている。
- ・ 従来、会社から役員に対する経済的利益の供与（役員に対する給与課税）を避けるため、役員が D&O 保険の保険料を一部負担することが多い傾向にあったが、現在は、「改正会社法の規定に基づき締結された D&O 保険の保険料を会社が全額負担することは適法と考えられることから、役員個人に対する給与課税を行う必要はない」との国税庁の見解（2020 年 9 月）を踏まえ、上場会社による保険料の全額負担が浸透してきている。
- ・ 上場企業の会社補償の導入率は約 4%（141 社）となっている。会社補償は、企業が役員等の損害を直接補償するものだが、株主代表訴訟をはじめ役員等が企業に対して損害賠償金を支払う場合は、利益相反を防止する観点から法令上で会社補償の対象外とされている。また、損害賠償金の補償を実行した場合、社外への情報開示が必要となるなど、株主をはじめとした外部の目を意識する必要があるため、導入には慎重な企業が多いものと考えられる。会社補償を導入している上場企業の 90%超が D&O 保険にも加入している。株主代表訴訟における損害賠償金をはじめ、会社補償では補償できないリスクが存在するため、導入済みの上場企業であっても、D&O 保険への加入率は高いものと考えられる。

○ 多様な働き方を下支えする「スポットワーカー向け補償制度」の販売開始 ～第一弾 業務中の災害リスク補償制度～ 損保ジャパン（22/12/7 ニュースリリース）

- ・ 損保ジャパンは、オンライン上で募集される数時間単位の仕事に従事する「スポットワーカー向け補償制度」を、スポットワーク利用企業を仲介する事業者（以下「スポットワーク情報提供事業者」）と連携し、2023 年 2 月 1 日から販売する。スポットワークとは、短時間で単発、短い時間と期間だけ働き、「継続した雇用関係」のない働き方を指す。
- ・ 働き方改革による副業・兼業ニーズの増加等を背景に、求職者のライフスタイルや希望に応じた多様な働き方を可能にするスポットワークが近年注目され、コロナ前に 300 万人に届かなかった利用者数はコロナ禍を契機に急増

し、2025年には500万人を超えると予測されている。また、こういった予測等も踏まえ、スポットワーカーを会員に抱えるスポットワーク情報提供事業者は、スポットワーカーが安心して働ける環境の整備を進めている。

- このような状況のもと、損保ジャパンは、スポットワーク情報提供事業者に対するニーズ調査等を行いながら、「スポットワーカーが安心して働ける環境の整備」に資する取組みとして、スポットワーク情報提供事業者を介した「スポットワーカー向け補償制度」を開発した。
- 商品の概要は、スポットワーク情報提供事業者のサービスを利用し、スポットワーク利用企業に雇用されたスポットワーカーが、雇用先企業での業務中に偶然な事故によりケガなどをした際に、当該雇用先企業が社内規定に基づき見舞金をお支払いした費用を保険金として支払う。
- スポットワークの特徴である短時間、短期間の労働実態に応じた商品設計により、合理的な保険料を実現する。
- 【保険料イメージ】（例）死亡保険金：300万円 入院保険金日額：3,000円 通院保険金日額：2,000円など

1日当たりの最大就労人数1,777名、1日当たりの平均就労人数777名、倉庫での軽作業、飲食やコンビニでのサービス業、事務作業などの職種で設計すると、従来の傷害保険では保険料が約830万円のところ、「スポットワーカー向け補償制度」では約180万円となる。補償金額、職種、労働時間、就労者数等により保険料は変動する。

○【国内初】洋上風力発電向け 工事請負業者や部品サプライヤーの 契約上の瑕疵保証責任を補償する 保険を開発 東京海上日動（22/12/9 ニュースリリース）

- 東京海上日動は、洋上風力発電所の工事請負業者や部品サプライヤーが契約上の瑕疵保証責任を負担することで被る損害を補償する新しい保険商品を開発し、12月中に発売を開始する。当社は本保険の提供を通じて、日本のグリーンTRANSフォーメーション（GX）推進に向け、洋上風力産業の発展をサポートしていく。
- 経済産業省による「第6次エネルギー基本計画」では、洋上風力発電は再生可能エネルギー主力電源化の切り札として推進していくことが謳われており、2030年には5.7GWの導入目標が掲げられるなど、洋上風力発電の更なる導入拡大が期待されている。また、洋上風力発電は国内の産業振興においても大きな期待を受けている。
- こうした環境は、洋上風力発電に係る工事請負業者や部品サプライヤーにとってはビジネスチャンスである一方、EPC契約（工事請負業者が設計（Engineering）・調達（Procurement）・建設（Construction）を一括で請け負う契約方式）が一般的であることや、洋上作業にかかる費用、洋上風力特有の専門性の高さにより、他の工事よりも広範、高額かつ長期間の瑕疵保証責任を求められる傾向があるといった大きなリスクにも直面している。工事請負業者や部品サプライヤーが通常手配する建設工事の保険や生産物賠償責任保険では、一般的にそのような瑕疵保証責任のすべてを補償することができない。
- 当社は、我が国の保険会社として初めて発電事業者を対象に洋上風力発電向けパッケージ保険を開発し、2020年4月からお客様に提供してきた。今般、洋上風力産業の発展を更に支援するため、工事請負業者や部品サプライヤーが負担する高額かつ長期間の瑕疵保証責任を補償する保険商品を開発した。
- 本保険商品は風車タービン部品や海底ケーブル、風車基礎部分などの設計、材質、製作または施工に関する工事請負業者や部品サプライヤーの瑕疵保証責任を補償し、保険金をお支払いする。また、洋上特有の費用である傭船料も補償可能とするなど、具体的な補償内容はオーダーメイドで設計する。
- 当社では再保険を活用し、日本向けの保険引受けの枠組を構築した。この結果、最長5年間の長期間にわたる瑕疵保証責任に対応し、10億円を超える支払限度額を提供することも検討可能となった。

○【業界初】新たな経済圏創出に向け、フォートナイトでの取組を開始 あいおいニッセイ同和
(22/12/13 ニュースリリース)

- ・ あいおいニッセイ同和は、全世界で 4 億人を超える登録ユーザーを保有する人気オンラインゲーム「フォートナイト」で、新たな経済圏の創出に先立ち、保険商品・サービス・顧客接点の構築に向けた仮想空間（以下、「メタバース」）の開発およびクリエイター支援活動を 2022 年 12 月から開始する。
- ・ メタバースはゲーム業界を中心に利用が拡がり、新たなコミュニケーション・経済活動を行う場として注目を集めている。中でも、EpicGames 社の運営する「フォートナイト」は、世界最大規模のプラットフォームとして全世界で 4 億人を超える登録ユーザーを抱えている。また、「クリエイティブモード」と呼ばれる機能により、「フォートナイト」では企業・一般ユーザーが作成したゲームやメタバースを「フォートナイト」内で開発・提供することが可能。
- ・ あいおいニッセイ同和は、メタバースが経済活動の場として今後拡大する可能性を見据え、多くの方々がメタバースで安心・安全に活動できる環境の構築を目指して商品・サービスの研究開発を進めている。また、新たな顧客接点の構築のため、メタバースの活用方法について検討を行っている。
- ・ 今般、メタバース上で発生するリスクに関するノウハウの蓄積およびユーザーとの接点構築を目指し、「フォートナイト」でメタバースを開発するとともに、クリエイター支援活動を開始した。
- ・ 新たな経済圏の創出に向けた取組の第一弾として、フォートナイトのプラットフォームを活かして、若い世代の方々に楽しく遊んで頂けるメタバース空間（ゲーム）を 2022 年 12 月より提供を開始する。その後もサイバーセキュリティや防災等の社会課題をテーマとしたコンテンツを順次提供予定。
- ・ 昨今、メタバース関連市場の隆起に伴い、多くのクリエイターが活躍を始めており、メタバース市場の健全な発展に必要な不可欠となるクリエイターの方々が安心して活動頂ける環境が必要不可欠と考え、クリエイターへの支援活動を開始する。
- ・ 既にクリエイターの方々を表彰する祭典への協賛活動を開始しており、本活動を皮切りに、クリエイターとのスポンサー契約等の支援を推進していく。また、こうしたクリエイターの方々が安心して活動していただくために、疾病による収入減少等、様々なリスクを補償する保険商品の検討を進めており、安全・安心なメタバースの発展とクリエイターの方々の活躍に貢献していく。
- ・ メタバースを取り巻く環境は日々変化しており、今後のプラットフォームの進化に対応した、新たな顧客との接点や募集動線の構築、商品・サービスの提供を進めることで、メタバースの利用者・クリエイター・プラットフォーマーといった様々なステークホルダーの方々が安心・安全に生活や事業活動ができる環境とし、当社が掲げる「CSV×DX」を通じた社会への価値提供を進めていく。また、三井住友海上でもメタバースに取り組んでおり、グループ全体で幅広くノウハウ蓄積を進めていく。

以上